



いやなににおいを消すにはどうするの

活性炭を使う

わたしたちのまわりには、いろいろなにおいを出す物が、たくさんあります。トイレ、下水、ごみなどから出るにおいは、いやなににおいです。

いやなににおいをなくすには、入れ物に入れてふたをすとか、薬品を使ってにおいを消すなどの方法があります。

いやなににおいがする物を、入れ物に閉じこめてふたをしても、ふたを取れば、また、においがします。においを取ってしまえば、においがなくなります。その一つの方法に、活性炭を使う方法があります。

活性炭はヤシのからや、おがくずなどを焼いて作ります。活性炭は、木炭と同じようなものですが、つぶの表面に、木炭よりもたくさんのすき間があります。つぶの表面のすき間が多いほど、いやなににおいを吸い取ります。

においのもと、空気中に散らばっている物です。活性炭を空気中に置いておくと、これが活性炭のすき間に入りこんで、活性炭の表面にくっつきます。すると、空気中に散らばっていた、においのもと物質はなくなり、においが消えてしまいます。

薬品を使う

薬品を使っていやなににおいを消すのは、薬品がいやなににおいのもとになる物を、分解してしまう方法と、果物や花のようなよいかおりがする物で、いやなににおいを、わからなくしてしまう方法とがあります。また、いやなににおいを発生させる細菌を取り除くために、殺菌剤なども使われます。(監修・青木 国夫)

